

2025年度聖書講座

【共催】

カトリック東京大司教区・上智大学キリスト教文化研究所

# 知恵文学を再考する

「今・ここ」にあるいのちを生き抜く知恵

① 10:25 ~ 10:30

挨拶

川中 仁

上智大学神学部教授／上智大学キリスト教文化研究所所長

② 10:30 ~ 12:00

知恵文学のパラダイム変換  
—言葉の解釈としての「謎解き」—

小友 聡 日本旧約学会会長

③ 13:30 ~ 15:00

知恵と知識 —「分別」再考—

飯郷 友康 立教新座中学校・高等学校非常勤講師

④ 15:15 ~ 16:45

ヤコブ書における知恵

東 よしみ 関西学院大学神学部准教授



上智大学中央図書館 8階 L-821会議室

【開催方法】会場（定員 50 名）+ Zoom ウェビナーによる配信

【参加方法】事前申し込み制 受付期間 ~ 10/31(金)締切

下記 URL または QR コードよりお申し込みください ※電話での申込受付不可

<https://forms.office.com/r/KfDbCa9gyh>

【聴講料】一般 1,000 円 学生 800 円 ※銀行振込 / 詳細は受付後に別途案内

最新情報は研究所HPにてお知らせいたします



上智大学キリスト教文化研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

TEL : 03-3238-3540 E-mail : kiriken-co@sophia.ac.jp

<https://dept.sophia.ac.jp/is/icc/>

# 知恵文学を再考する

## ——〈今・ここ〉にあるいのちを生き抜く知恵

旧約聖書は、古代オリエント周辺世界の知恵文学から多大な影響を受けつつも、知恵についての独自の思索を多様な文学形式のもとに結晶させた。そうした旧約の知恵文学の影響は、新約聖書の随所にも見て取ることができる。旧約・新約聖書を貫く「知恵」という主題は、神の前にある人間の生のあらゆる側面についての思索へと私たちを招く。さまざまな「生きづらさ」を抱える現代にあって、それでもなお真摯に〈今・ここ〉を生きるための知恵文学を再考する。

### 知恵文学のパラダイム変換—言葉の解釈としての「謎解き」—

小友 聡／日本旧約学会会長

従来の知恵文学は「知恵」という概念から文学領域を規定する。その知恵（ホクマー）は、フォン・ラートによれば、世界の秩序や法則と関係し、それを探究するホクマーが織りなす文学が旧約の箴言、ヨブ記、コヘレト書、また知恵の詩編である。しかし、知恵文学はパラダイム変換を必要とする。知恵文学の新たな概念定義は「言葉の解釈としての謎解き」である。「謎解き」（ヒーダー）が知恵の本質だ。つまり、言葉（事柄）から意味を引き出す方法が知恵であって、それを「謎解き」と言う。箴言では比喩の解釈によって言葉（格言）から意味が引き出される。コヘレト書では黙示の啓示的解釈に対し、言葉が此岸的で倫理的に解釈される。ヨブ記では神の秘義の前で、問いのコペルニクスの転換によって、応答的生き方が要請される。いずれも「言葉の謎解き」であって、言葉の解釈から、現世をいかに生きるかに答えを与える。この意味において雅歌もまた知恵文学に属する。

### 知恵と知識—「分別」再考—

飯郷 友康／立教新座中学校・高等学校非常勤講師

知恵（ちえ）をギリシャ語で「ソフィア」、ヘブライ語で「ホクマー」という。知識（ちしき）をギリシャ語で「グノーシス」「エピステーメー」など、ヘブライ語で「ダアト」「イェディアー」などという。知恵と知識は似て非なるものであるので、分別（ふんべつ／ぶんべつ）を要する（なお、分別をヘブライ語で「ビーナー」という。ギリシャ語では？）。その分別を行なう手がかりの一つとして、いわゆる「ラビ文献」に見られる情報を照会したい。ちなみに、ラビ文献をユダヤ文学史の用語では「先賢文学（シフルート・ハカメーヌー・ジクロナム・リブラカー）」という。これも「知恵文学」の一種（あるいは延長線上）に含まれてよいと思うのだが、どうか。そのあたりを論じられれば嬉しい。

### ヤコブ書における知恵

東 よしみ／関西学院大学神学部准教授

ヤコブ書は、新約聖書の中で知恵文学にもっとも近いとされる文書です。ヤコブ書には箴言やヨブ記などの知恵文学からの引用が見られ、試練の意味や人間の生の脆弱性、舌を制御する重要性など知恵文学と共通するテーマも多く見られます。ヤコブ書の文学類型が知恵文学と言えるのかについては様々な意見がありますが、ヤコブ書において知恵は重要なテーマです。この講演では、ヤコブ書1章と3章において語られる知恵の特徴を取り上げ、知恵というテーマがヤコブ書全体の中で果たしている役割を分析します。知恵がヤコブ書の他のテーマやヤコブ書全体の神学、倫理、終末論とどのように関係しているのかを考察します。その上でヤコブ書の知恵が、現代のわたしたちにとってもつ意味について考えます。